平成２７年度第１回千葉市若葉区公民館運営審議会議事録

１　日　時　平成２７年６月３０日（木）１４時００分～１５時１５分

２　場　所　千城台公民館　集会室

３　出席者　（委員）

内山委員長、大澤副委員長、猪野委員、深山委員、江﨑委員、但田委員

森谷委員、横田委員、近藤委員、小島委員

（事務局）

髙石館長（千城台公民館）、小出館長（更科公民館）、菊池館長（白井公民館）

深山館長（加曽利公民館）、押尾館長（大宮公民館）、中村館長（みつわ台公民館）

深浦館長（若松公民館）、鈴木館長（桜木公民館）、山老副館長（千城台公民館）

山本主査（千城台公民館）

４　議　題

（１）平成２６年度若葉区公民館の利用状況について

（２）平成２６年度若葉区公民館の事業報告について

（３）その他

５　議事の概要

（１）平成２６年度若葉区公民館の利用状況について

事務局より、平成２６年度の若葉区公民館の利用状況を報告し、承認された。

（２）平成２６年度若葉区公民館の事業報告について

事務局より、平成２６年度の若葉区公民館の事業報告を行い、承認された。

（３）その他

小島委員より、子育て支援事業への協力依頼。

６　会議経過

（１）議題１　平成２６年度若葉区公民館の利用状況について

質疑なし。

（２）議題２　平成２６年度若葉区公民館の事業報告について

（猪野委員）後援事業の文化祭のあり方についてですが、利用団体の成果発表が中心になるかとは思いますが、それ以外の一般の地域住民の、見学ではなくて発表・参加も含めているところがあれば教えていただきたいのですが。

（深浦館長）若松公民館では、昨年度から、すぐそばの若松中学校の吹奏楽部の子どもたちの発表を始めました。それにより、文化祭が華やかになるだけでなくて、生徒の家族が見に来る関係で、公民館に入ったことがない方々も公民館の発表を

見たり、図書室に入ったことがないご家族の方が当館に来られたということもありますので、今年度も若松中学校と連携をとることになっています。

（中村館長）みつわ台公民館ですが、文化祭の行事自体に参加するというのは、時間の兼ね合いで難しくなってきていますので、参加とかそういうことではなくて、地元の保育園・幼稚園の子どもたちに絵を描いてもらって、文化祭の当日に壁に貼り出しています。それによって、保護者の方、おじいちゃん、おばあちゃんがたくさん見に来られたりということで、そういった面で参加をいただく工夫をしています。

（鈴木委員）桜木公民館ですが、桜木小学校の協力を得て、吹奏楽の演奏をしていただいています。今年度は貝塚中学校にお願いして、中学校の方の吹奏楽に協力を依頼しています。

（猪野委員）利用団体の発表の場だけで精一杯というところもあろうかとは思いますが、更科地区では、利用団体の発表だけではさみしい、先行き危ういというところもあります。館長さんも心配されているところですが、せっかくの地域の公民館なので、もう少し地域に親しまれる、地域参加型の文化祭を考えていかなければいけないということがあって、伺いました。

（横田委員）更科の中学生の料理教室というのは、どんな形で行われているのでしょうか。

（小出委員）本館のサークルで、郷土料理の会というのがあります。その会は、主として太巻寿司をやっていて、季節の様々な図柄で太巻寿司を作っています。最近だとバラを作るとか、季節によっては椿になったり、雪だるまになったり、そういうのをやっているのですが、その実践を活かして、千葉の伝統料理でもありますし、小中学生に継承していきたいということで、コラボレーションというか、いっしょに取り組んでいこうということで、授業時間、学校としては教育課程の中に位置づける。中学校では家庭科の授業のカウントになると思いますが、そうやって、学校の授業の時間帯に、講師とか公民館職員が小学校、中学校の調理室に行って、子どもたちに太巻寿司を教え、その場で食べるという活動です。小学校は５年生、中学校は全校で三十数名の学校なので１年から３年まで全部がやりますから、最大で４回経験できるということです。小学校で１回、中学校で３回。少なくとも、４図柄、４パターンはレパートリーを経験できる。小学校の方は、全員ではありませんが、保護者の方も参加してやっています。

（但田委員）若松公民館にお聴きしたいのですが、資料の７番、８番、12 番（の事業）は男性の参加がとても多いということですが、募集に際して何か工夫していますか。うち（千城台）の方は、男性に声をかけても回覧ではなかなか集まらないので、そのへんのノウハウを教えていただければ。

（深浦館長）４月に異動したばかりで、詳しいことはわからないのですが、地域の伝手を頼りに、声を掛けたりして集めたと聞いています。もともと調理関係のサークルがあるので、そのご主人だとかご主人の友達とか、その繋がりから、ぜひ男の方も厨房に入った方が、これから一人でも生きていくためにもいいということで、いろいろと声を掛けたと聞いています。

（但田委員）私たちも、皆さんにお願いしてお電話するしかなくて、なかなか男性を引っ張り出すというのは難しいものですから。

（近藤委員）各館の事業報告を伺いまして、また、資料を拝見しまして、コンサートの事業が大変人気があると感じました。私も、桜木公民館のウィンターコンサートに参加させていただきましたが、普段サークルでお会いする方もいらっしゃいましたが、初めてお会いする方が多くて、大変驚きました。体の不自由な方や、車イスや杖を突いた方もたくさんお見えでした。すごく地域の方に還元できる事業なのかなと感じていまして、受講者も、コンサートなので人数が多いので、これからもコンサートの事業を増やしていただけたらと思いました。ほとんどの公民館で、音楽に関する事業を取り入れているようなので、感想を述べさせていただきました。

（森谷委員）若松も、初めて昨年行いまして、とても好評でした。皆さん大勢集まって宿題になるようなことは嫌で、子どもさんたちの音楽などをやって、できるだけ集まって来るとか、そういうものがいいようです。もう少しそういうことをして、若松公民館長さんが言われたように、公民館に足を向けていただくということが大事ではないかと思います。

（内山委員長）大宮公民館の簡単英会話で外国文化を学ぼうというのは、例えばどのようにやられているのですか。

（押尾館長）海外旅行に行ったときに、空港とか買い物をする時に使える英語というように、ジャンルをぐっと絞って、それを相対しながら、掛け合いながら行うということです。

（内山委員長）日本人同士で。

（押尾館長）先生は、日本人のキャビンアテンダントとかベテランの講師なので、自分自身もそういう場面を海外で体験している方なので、そのために抜擢しています。

（深山委員）大宮公民館の秋の子ども教室・３Ｂ体操ですが、リズム体操的なものと伺ったのですが、もう少しお話しいただけますでしょうか。

（押尾館長）音楽に合わせて体を捻ったり、リズムに乗り、音楽に乗りながら体を使う体操というふうにご理解いただければ。その他、簡単な道具などを使ってやります。

（中村館長）みつわ台公民館でもかつてやっていたのですが、３Ｂというのは、ベル、ボール、

ベルターの３つの物を使ってストレッチをするという内容です。Ｂというのは、使う道具のイニシャルを取ったもので、それで３Ｂということです。

（江﨑委員）みつわ台公民館で、スナッグコーナーという事業をやっていますが、計画の段階で説明いただいているかもしれませんが、多くの方が受講されていますので、具体的にどのような事業か、お聞かせいただきたい。

（中村館長）小学生の居場所づくりとして、とりわけ夏休み期間中に会議室を開放して、子どもたちに使っていただいています。内容としては、スナッグというのは心地よいという意味の英語ですが、今流行りの言葉になりつつあります。スナッグという、気持ちよい、心地のいい、穏やかな、爽やかなという意味合いなのですが、ネーミングは、育成委員会さん、今日は横田さんがお見えですが、横田さん中心にネーミングしていただきました。子どもさんに直に貸すのではなくて、育成委員会さんに部屋をお貸しするという形をとっています。我々も加わりながら、子どもたちだけにするということではなくて、できるだけ大人が関与するようにしています。会議室を閉めて、子どもたちだけで数時間過ごすということではなしに、一緒に大人も参加して、その中でゲームをやったりしています。大事なのは、仲間を作るということだと思います。みつわ台は、3校あります。源小、みつわ台北小、みつわ台南小とありますが、そういう機会に学校を超えて仲間作りができるというのが大きな成果だという気がしています。今年も10日間部屋を押えて、７月・８月に実施をしようと検討しているところです。

（江﨑委員）利用人数のことですが、10回やられて、受講者が88人で、延べ88人となっていますが、延べ880人ではないのですか。

（中村館長）延べで88人ということです。従って、１回あたり７～８人ということになります。会議室が収容人員15～16人くらいの部屋ですので、その程度の人数になります。

（内山委員長）千城台で、くらしの安全110番という講座がありますが、実際に電話を使ってやるんでしょうか。

（山老副館長）そこまではやっておりません。振り込め詐欺の件数とか、実際に振り込め詐欺が増えているということで、手口とか具体的な事例について、講話によって啓発するという形で行っていて、実際に電話を使ってというところまではやっておりません。

（３）議題３　その他

（小島委員）私は子育てサポーターになって15年になりますが、子育てサポーターになった年に、公民館全体を館長に案内してもらって回ったのですが、メンバーが随分変わったので、昨年、新しいメンバーと一緒に各公民館を見て回ったのですが、

皆さん子育て中の方に協力してくれている様子はあったのですが、サポーターの活動である「おしゃべりタイム」のちらしの 24 年度版が貼ってあったりとか、そういうものが全然貼ってなかったりしていたので、もう少し協力していただいて、ちゃんとしたものを置いていただけたらありがたいと思うのと同時に、赤ちゃんステーションというのが結構設置されていて、公民館に子育て中の親子が休憩に来たりとか、何かを求めてきたというのがあったならば、千城台公民館に連絡してもらったりとか、お母さんたちに優しい言葉を掛けてあげるだけでも違うので、そういうところで子育て中の親子に声を掛けていただければいいかなという気持ちでいますので、よろしくお願いします。

（問い合わせ先）千葉市教育委員会生涯学習部
千城台公民館
電話：２３７－１４００